1　臨床に関するもの

演題番号 1	頸部アライメントの違いと舌圧の関係性について
発　表　者	公立みつぎ総合病院　主任言語聴覚士・言語聴覚士　小山　善仁
共同発表者	掛田　彩加，瀧野　剛，東舎　奈央，吉村　美佳

嚥下における適切な頸部アライメントの選択において，簡便に測定可能な舌圧を利用することを目的に，頸部アライメントの違いと舌圧の関係性を探る研究を行った。対象は健常成人38名で，頸部①軽度前屈位，②最大伸展位，③最大屈曲位として，それぞれの基本軸からの角度，最大舌圧を測定した。最大舌圧の平均値の比較では，軽度前屈位は最大伸展位及び最大屈曲位に対し有意に高い舌圧値を示した。次に軽度前屈位の角度と舌圧の間には相関を認めなかった。結果より，舌圧測定は嚥下に適した頸部アライメントの選択に有効である可能性が示唆された。また，頸部前屈位の程度は個々に調整する必要があると考えられる。

MEMO